

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン研究 3											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	松浦 泰明			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
2013年 金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻卒業。 2013-2021年、キヤノン株式会社にてレンズ交換式カメラのプロダクトデザインに従事。グッドデザイン賞、iFデザイン賞、IDEA賞、アジアデザイン賞、JIDA DESIGN MUSEUM SELECTION GOLD、コクヨデザインアワード2021優秀賞 等受賞。											
授業概要											
優れた製品やサービスについて多角的な視点から考察する授業である。既存商品について各自が調査・観察を行なった後、講師や著名人による解説を聞くことで要点を整理する。											
到達目標											
観察眼を養うことを目標とする。情報で溢れる現代社会において素早く対象の本質を見極め、今後のデザイン活動に繋がるヒントを得られるようになる。											
授業方法											
オンライン配信形式の授業である。各自リサーチを行なった後、講師の解説をもとに考えを深め、要点をレポートにまとめて提出する。											
成績評価方法											
平常点：20％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する 平常課題：50％ 毎回の提出物を総合的に評価する 最終課題：30％ 授業内容の総合的な理解度を評価する											
履修上の注意											
授業時間内に集中して成果をあげるために、授業中の受講態度なども評価の対象とする。 理由のない遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目を合格することができない。 授業内容は変更になる可能性があり、変更の際は随時授業内で連絡する。											
教科書教材											
必要な情報は授業毎に伝達する。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション / 次回テーマの調査レポート作製										
第2回	考察1：身につけるもの / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製										
第3回	考察2：ヘルスケア / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製										
第4回	考察3：文具 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製										
第5回	考察4：日用品 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン研究 3	
第6回	考察 5 : 家具 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第7回	考察 6 : 生活家電 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第8回	考察 7 : 映像機器 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第9回	考察 8 : 情報機器 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第10回	考察 9 : 医療機器 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第11回	考察10 : モビリティ / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第12回	考察11 : 建築 / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第13回	考察12 : パッケージ / 今回テーマのまとめ・次回テーマの調査レポート作製
第14回	考察13 : アプリケーションサービス / 今回テーマのまとめ
第15回	全体レポートの作製